

令和4年度 第2回 浅間小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月22日（水） 午後1時30分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 松原 紀彦、高橋 与人、押川 英仁、市原 美智恵、池田 幸子
- 4 欠席委員 伊藤 元之
- 5 学校支援コーディネーター 鈴木 明子、鈴木 由紀
- 6 学 校 泉澤 伸広（校長）、村松 昌彦（教頭）、池野 紀子（教務主任 教育課程担当）、
菊地 寛（CS担当職員）、大石 文穂（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課 地域連携グループ 指導主事）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 大石 文穂

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高橋会長が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

（1）学校関係者評価

- 学校評価アンケートについて
- 浅間つばめ応援団 本年度活動報告

（2）学校運営協議会の自己評価

（3）来年度学校運営基本方針の説明

（4）その他

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数6人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校関係者評価

- 学校評価アンケートについて

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、令和4年度学校評価アンケート結果およびそれを受けた改善点について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・タブレットを効果的に学習活動に取り入れていくとのことだが、今年度の利用状況はどのようなであったか。（松原委員）
 - 感染症で学級閉鎖になった時は、閉鎖期間中に毎朝担任がオンラインでの健康観察や、宿題の進捗状況の確認などで使用した。ログイン時間の履歴が残るため、子どものタブレットの使用状況も学校で確認が可能。来年度は週末に持ち帰り、タブレットを使って宿題に取り組むことなども検討している。あわせて利用上のルール化も必要だと考えている。（教務主任）
- ・実際には授業でタブレットを利用しているが、保護者には実態が見えにくいのではないかと。私もつばめ応援団のボランティア活動を通して、どのように使っているのか知ることができた。授業参観やブログなどで実際の使用状況を紹介するという改善案に賛成する。（池田委員）

- ・一人ひとりに寄り添う生徒指導を行う中で、子どもたちが先生に話しかけやすい環境になれば、いじめを未然に防ぐことに繋がるのではないか。(押川委員)
- ・いじめがあった際の学校の対応や指導方法を教えて欲しい。(市原委員)
 - 日々いろいろな揉め事があるが、子どもが辛いと感じたらいじめと認定している。本人からの訴えだけでなく、周囲の目撃情報やいじめアンケートなど多面的な方法でできるだけ早く見つけ、いじめ対策委員会に情報をあげて早急に対応している。また、子どもたち自身でも、学校という小さな社会の中でトラブルを解決できるよう育てていきたいと考えているが、協議会の皆様にも今後も御意見をいただきたい。(教頭)
- ・本年度は感染症による欠席児童が数多くいたと思うが、療養開けに特に抵抗なく登校できているか。(高橋会長)
 - 子供たちからは学校に来られて嬉しいという声があがっていた。クラスでも欠席児童がいることを気付いているが特に追求はせず、登校すれば温かく迎え入れる雰囲気がある。担任も療養期間中にタブレットや電話などで連絡をとりフォローしているので、子どもも気にせず登校できるのだと思う。(校長)

● 浅間つばめ応援団 本年度活動報告

議長の指示により、学校支援コーディネーターから別紙資料に基づき、本年度の浅間つばめ応援団の活動報告があり、委員から以下の発言があった。

- ・昨年から継続した学習支援ボランティアの活動はやりやすかった。初めてのミシン補助やわくわくコンサート受付補助などは、ボランティアを集めるところから始めたため、大変なこともあった。(池田委員)
- ・今年初めてボランティアに参加しミシン補助をしたが、先生の授業の工夫が素晴らしく、とても楽しい授業内容に感心した。子どもたちの個性が垣間見られ、私自身も楽しく活動できた。貴重な体験ができるので、ぜひいろいろな方に参加してほしい。(市原委員)
- ・ボランティアはどのように集めているのか。(松原委員)
 - 学校から事前に年間スケジュールや支援が必要な授業や行事を提示されるので、活動に参加できるボランティアの人数や担当などを支援コーディネーターで調整している。(池田委員)
- ・浅間校区では毎年12月に防災訓練を行っているが、今年は3年ぶりに実施できた。4年生の社会で防災講演があったが、私たち自治会も大変勉強になった。(松原委員)
- ・旗振りや交通安全についての意見はあるか。(高橋会長)
 - 特に大通りは車の往来も多く危険なので、毎日子どもたちの安全を守っていただきボランティアの方には感謝している。(押川委員)
 - 雨の日は子どもの送迎で学校近隣も混雑し心配なので、ぜひ今後も継続して支援していただきたい。(高橋会長)
- ・ボランティア活動に関しての学校側の意見はあるか。また、子どもたちの反応はどうか。(高橋会長)
 - 担任一人では目が行き届かないことも多く、フリーの教員数も充分ではないため、本当にありがたい。子供たちもつばめ応援団の方たちと話ができて楽しかったと、とても満足した表情で話していた。(校長)
 - 校外活動では、道幅が狭い歩道を整列して歩くように、また、横断歩道を安全に渡れるように見守っていただいた。ミシンや書き初めの授業でも細やかにフォローしていただき、

担任からも感謝の声が上がっている。来年も協力しながら進めていきたい。(教務主任)

(2) 学校運営協議会の自己評価

高橋会長から、学校運営協議会自己評価に関して各委員の意見が読み上げられ、今後、学校のホームページで公開する旨の説明があった。

(3) 来年度学校運営基本方針の説明

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、令和5年度学校運営基本方針について説明があった。

- ・学校教育目標「自分の良さが輝く学校」の実現に向けて、一人一人に寄り添い一緒に考える生徒指導を行っていく。
- ・やさしさいっぱいプラン、やる気いっぱいプラン、元気いっぱいプランの見直しも行っており、前例にとらわれずに教育活動の創造を図りたい。
- ・本校が、保護者が安心して子供を送り出せる学校、地域に根差し、地域から愛され、大切にされる学校となれるよう、実態と照らし合わせて浅間小ならではのコミュニティ・スクールを推進させていくことが必要である。

それを受け、委員から以下の発言があった。

- ・来年度の運営基本方針が分かりやすく理解できた。また、同時に先生方の働きやすい環境づくりも進めてほしい。(押川委員)
- ・先生方の働き方改革に関連していえば、時間外勤務の超過や管理職の先生方の負担増などでメンタルヘルス問題が心配されるが、学校のサポートはあるか。(松原委員)
 - まず個々の先生の話に耳を傾け、同学年の先生方にも様子を聞くなどしている。生徒指導や保護者対応も分担して学年全体で行っている。また、教材研究などもICTを有効活用し、働き方改革を行っていきたい。(校長)
- ・社会環境が複雑化・多様化し、子どもへの言葉がけも慎重にならざるを得ない。細かい事例で掘り下げるなどして、先生方で話し合いをたくさんしていただきたい。今後の子どもへの対応は、共通理解の上でのルールが必要だと思う。(市原委員)
- ・常に子どもたちのことを考えてくれているのが教育目標に表れており、大変ありがたく思っている。(池田)
- ・浅間小の子どもたちは優しい子が多い一方、皆と同じでないと不安に思う傾向があると感じる。子どもたちが、自信を持って、自分の良さを肯定的に捉えられるような指導をしてほしい。もし、先生方の負担が大きくなるようであれば、PTAや学校運営協議会にタスクシフトできる部分がないか相談してほしい。(高橋会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) その他

議長の指示により、教頭から、夢育やらまいか事業予算のコミュニティ・スクール加算分について報告があり、委員からは以下の発言があった。

- ・体育館南側の壁のはがれが気になるが、市に補修を要請できないか。(松原委員)
 - 雨の浸食による劣化と思われるが、本年度は要望が通らなかった。浅間小学校の体育館は地域の避難場所にも指定されているため、今後も継続して要請をしていきたい。(教頭)

その他連絡事項等

- ・ 来年度の協議会開催日時について

司会から、学校運営協議会の年間開催予定と、第1回協議会は、令和5年5月12日（金）午後1時30分から、南校舎2階会議室で開催する旨の連絡があった。